

成果報告書

担当者：山本 欣郎（農学部共同獣医学科）

講座名：獣医学の世界 ～獣医学科はどんな研究をしているのだろうか？～

実施日：令和元年 8 月 6 日

受講者数： 70 名 定員数：100 名程度

受講料：なし

目的

岩手大学には共同獣医学科があり、獣医学に関する教育と研究を行っている。獣医学の研究は、動物の体の構造や仕組みを調べる基礎研究、病原体や感染症について調べる応用研究、動物の治療を対象とした臨床研究など多岐にわたっている。また、研究対象もイヌ・ネコからラットなどの実験動物や野生動物種類も多く、さらには畜産食品の安全管理、農場や牧野の放射線を調べる研究もある。岩手大学農学部共同獣医学科で行っているさまざまな研究を紹介し、獣医学が持つ広い世界を一般市民、高校生、中学生に紹介する。

活動実績

本公開講座では、獣医学の教育研究領域の概略を説明後、基礎獣医学分野、病態獣医学分野、小動物臨床分野、大動物臨床分野から 4 つの話題提供を行った。

開催時間は 13:30～15:30 であり、具体的内容は以下の通り。

13:30～13:40 開会あいさつ

岩手大学農学部 共同獣医学科長 村上賢二 教授

13:40～13:50 講演「こんなに広い獣医学の研究領域」

岩手大学農学部共同獣医学科 山本欣郎 教授

13:50～14:10 講演「マウス遺伝学アプローチによる骨代謝研究」

岩手大学農学部共同獣医学科 古市達哉 教授

14:10～14:30 講演「日本鶏と鳥レトロウイルスの共存に向けて」

岩手大学農学部共同獣医学科 落合謙爾 教授

14:45～15:05 講演「ネコを腎臓病から救う」

岩手大学農学部共同獣医学科 片山泰章 准教授

15:05～15:25 講演「牛の繁殖管理技術；現状と対策」

岩手大学農学部共同獣医学科 高橋 透 教授

今後の課題

獣医学を横断した研究内容の紹介は、受講者の興味を引いていたと考えられる。対象を中高生から一般までと広くしたが、話の難易度の設定が妥当であったかの検証は必要である。